栃木市

令和８年１１月５日　定例記者会見資料【観光振興課】

とちぎ秋まつりの開催について

１．とちぎ秋まつりについて

歴史的建造物や伝統的建造物が残る町並みを背景に繰り広げられる「とちぎ秋まつり」は、江戸・明治時代の商都としての豊かさが江戸型人形山車の豪華な山車文化を栃木にもたらし、栃木の人達によって大切に受け継がれてきました。

現在、９台の山車と一対の獅子頭があり、ゆっくりと巡行する山車の前を、錫杖を持った手古舞姿の子ども達や、山車を曳く鯔背な着物姿や職人姿の大人達が通りを行き交い、お囃子の音色が響き渡り江戸の風情がよみがえってきます。

２．とちぎ秋まつりの起源と開催状況について

明治７年(1874)栃木県庁構内で行われた神武祭典を起源とし、その後神武祭や神社の付祭として執り行われ、昭和１２年(1937)の市制施行祭以降は、市の発展の祭礼として行われてきました。近年は２年に一度の開催で、前回は令和６年に開催され、期間中約２１万人が訪れました。

３．開催概要

○名　　称　令和８年とちぎ秋まつり
○主　　催　令和８年とちぎ秋まつり実行委員会
○日　　時　１１月１４日（土）午前９時～午後８時
　　１５日（日）午前９時～午後７時３０分
○会　　場　栃木県栃木市　とちぎ蔵の街大通り及びその周辺
○巡行山車　山車９台及び獅子頭１対
○観光客数　見込み　２００，０００人
○見どころ　江戸・明治時代に作られた絢爛豪華な江戸型人形山車
　日没後の提灯に照らし出された山車とお囃子の幻想的な世界
　山車が向き合って、お囃子を競い合う「ぶっつけ」
　地元の産業と物産展、郷土芸能（お囃子、和太鼓等）披露





４．秋まつり日程

１１月１４日（土）【まつり会場交通規制　午前９時～午後８時３０分】

午前９時～　　各町内巡行
午前９時３０分～　幸来橋巡行（午前１０時ごろ　幸来橋到着予定）
午前９時３０分～　新栃木駅巡行（午前１０時２０分ごろ　新栃木駅前到着予定）
午前１０時～　　例幣使街道巡行
（午前１１時ごろ　ヤオハンアイム駐車場にてぶっつけ）
午後１時３０分～　出発の合図～こども山車まつり
午後３時～　　出発式～大通り巡行
午後５時３０分～　出発の合図～大通り巡行
午後８時～　　各町内御仮屋へ

１１月１５日（日）【まつり会場交通規制　午前９時～午後８時３０分】

午前９時～　　各町内巡行
午前９時３０分～　栃木駅巡行（午前１０時２０分ごろ　栃木駅前到着予定）
午後１時３０分～　出発の合図～こども山車まつり
午後２時４５分～　出発の合図～大通り巡行
午後３時～　　例幣使街道巡行
午後５時３０分～　出発の合図～大通り巡行
午後７時１５分～　手締式
午後７時３０分～　各町内御仮屋へ



※１１月５日現在の予定であり、変更となる場合がございます。

５．全市的な祭りに向けて様々な取組み

○ 出発式での演出について

栃木市の山車は、江戸時代に山王祭などで将軍上覧の際、江戸城の城門をくぐるため高さを調整する必要があり、人形部分が上下にスライドする構造となっています。

今回初めての試みとして、１４日（土）の出発式の際に、９台の山車の人形を下げた状態から一斉に上げる演出を行います。歴史的な山車の特徴を活かした、迫力ある演出をご覧いただける機会となります。

○ こども山車まつりについて

「こども山車まつり」は伝統を体験してもらい次世代に継承することを目的に、平成２２年から開催しており、今年で８回目の開催となります。

今年は市内の小学校３、４年生、約７５０人が参加し、９台の江戸型人形山車を曳き、伝統を体験していただきます。

○ 山車の曳き手の募集について

今回、外国人住民を対象とした山車の曳き手を募集しており、当日は１０名程度の外国人の方が参加する予定です。

また、当日はとちぎの山車祭り伝承会ブースにおいて、体験の参加者を募集いたし

ます。（外国人以外の方も参加可・有料）
　多くの方に山車の曳き手として参加いただき、栃木市が誇る伝統文化に触れていただく機会を設けるとともに、まつりを支える新たな担い手との出会いが生まれることを期待します。

○ 市民協賛の募集

とちぎ秋まつりでは、市民挙げての祭りとして多くの皆様に支えていただくため、協賛金を募っております。開催趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

・協賛金：一口 1,000 円から
・特　典：秋まつり特製木札もしくは特製ハンカチを差し上げます。
　　（１口につき１枚）
・期　間：１１月１５日（日）まで
・受　付：（一社）栃木市観光協会



特典品イメージ





秋まつり特設サイト

【問い合わせ】
産業振興部　観光振興課
担当：寺内・石沢・三上
電話：0282-21-2851